

みんなの健康ラジオ

『頭が痛い時に、CTをとりますか？』

(2022年1月20日放送)

横浜放射線医会

横浜南共済病院

萩原 浩明

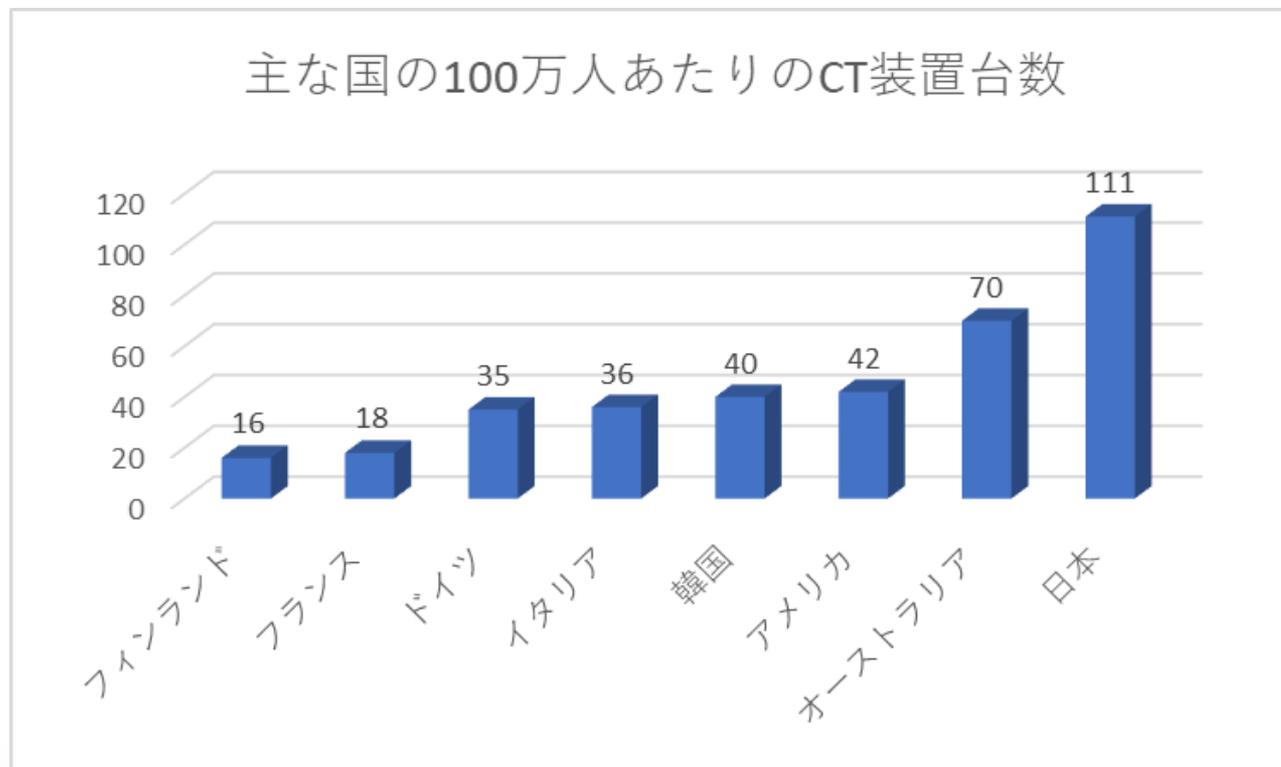
頭痛を生じる病気

頭痛を生じる病気は、一次性と二次性の2つに分類されます。それぞれの代表的な病気は以下の通りです。

- 一次性頭痛
 - 片頭痛
 - 緊張型頭痛
 - 群発頭痛
- 二次性頭痛
 - 頭部外傷
 - 脳血管障害（くも膜下出血、脳出血、動脈解離）
 - 感染症（髄膜炎）
 - 脳腫瘍

世界で最もCTが多い日本

- 人口あたりのCTの台数は、先進国のなかでもずば抜けて多く、100万人当たり100台を超えています。



出典：OECD (2021), Computed tomography (CT) scanners (indicator). doi: 10.1787/bedece12-en

成人の一次性頭痛の診断において、CTとMRIは推奨されない。

- 神経脱落症状を伴わない一次性頭痛に対してCTやMRIの有用性は非常に低く、推奨しない。ただし、非典型的な病型の頭痛、定義に当てはまらない頭痛、雷鳴頭痛、三叉神経・自律神経性頭痛の場合は、CTやMRIが有用な場合もあり、行うことを考慮してもよい。
- 出典：画像診断ガイドライン2021年版 日本医学放射線学会

まとめ

- 頭痛を引き起こす病気は多くあります。病気を正しく診断するためにCTは有用ですが、検査の必要性については、主治医の先生とよく相談しましょう。